

弘前大学大学院地域社会研究科  
×  
平成29年度公開セミナー

# ポスト 地方創生

地域の社会人を対象にした  
大学院レベルの高度専門プログラム

**受講無料**  
(社会人向け)

**2days**

**2017.10.21土** ▶▶▶ **2017.10.22日**  
in 八戸

## 講義 × まちあるき × 相談会

「ポスト地方創生」をテーマに「講義」と「まちあるき」を通じて地域の課題に着目した内容になっております。  
地域の活動をされている方、地域課題に取り組んでおられる方にとっては知見を広げるまたとない良い機会です。  
ぜひご参加ください。

### Day1 2017.10.21土

講義 × まちあるき

**13:00** 講義① 「いま地域に必要な3つのマネジメント」  
(90分) 講師：北原 啓司 (大学院地域社会研究科・教授)



**15:00** まちあるき  
(120分) 大学院地域社会研究科教員と「まちあるき」をします。  
八戸の中心市街地をあるき、八戸ポータルミュージアム  
「はっち」等の施設見学も実施します。



**17:30** 交流会



### Day2 2017.10.22日

講義 × 相談会

**09:00** 講義② 「地場中小企業と社会的課題の解決」  
(90分) 講師：佐々木 純一郎 (大学院地域社会研究科・教授)



**10:40** 講義③ 「地域づくりワークショップの肝」  
(90分) 講師：平井 太郎 (大学院地域社会研究科・准教授)



**13:10** 講義④ 「市民主体の集いの場づくりによる  
コミュニティ創生」  
(90分)



講師：土井 良浩 (大学院地域社会研究科・准教授)

**14:40** 相談会  
(20分) 地域活動についてや大学院地域社会研究科進学等に向けた  
相談会を実施します。



**対象** 地域の社会人、自治体等関係者、教育研究関係者、地域おこし等地域で活動する  
団体・NPO等関係者  
※大学院レベルの研究分野に興味がある方

**定員** 30名。  
※申込み多数の場合は先着順となります。  
※2日間受講いただける方を優先します。  
※受講の可否については後日お知らせします。

**場所** ユートリー・八戸地域地場産業振興センター  
4階 研修室  
(青森県八戸市一番町1-9-22)

**申込み** 申込み締切日 **2017年9/29 (金)**

受講ご希望の方は、裏面をご覧ください、FAXまたはメールにてお申込みください。

**問合せ** 弘前大学  
学務部教務課 (大学院地域社会研究科)  
TEL 0172-39-3960 FAX 0172-39-3961  
E-mail jm2112@hirosaki-u.ac.jp

# Day 1 2017.10.21<sup>土</sup> 講義 × まちあるき

## 講義 1 「いま地域に必要な3つのマネジメント」



地域社会研究科  
教授・北原啓司

マネジメントの真意は「育てる」ことであると考えます。いま地域に必要なマネジメント。①人のマネジメント、②場所のマネジメント、③土地のマネジメント。その複合方策としての「まち育て」戦略を解説します。

講義終了後、八戸のまちなかマネジメントの実際を見ていただきます。

## まちあるき 八戸中心市街地のまちあるき

講義1を受講後、場所を八戸中心市街地に移し、大学院地域社会研究科教員と一緒に「まちあるき」を実施します。八戸の中心市街地をあるき、八戸ポータルミュージアム「はっち」等の施設見学も実施します。

※ユートリーから八戸中心市街地までの移動はバス等を利用します。

※お車でお越しの方は、各自駐車場の手配をお願いします。



# Day 2 2017.10.22<sup>日</sup> 講義 × 相談会

## 講義 2 「地場中小企業と社会的課題の解決」

東日本大震災を契機に、地場中小企業は社会インフラとしての役割を再評価された。震災後6年が過ぎ、地場中小企業には、人口減少にともなう多様な社会的課題の解決が期待されている。地域社会の一員である地場中小企業が、地域内において住民をはじめ行政など各種組織との連携に果たす可能性を論じたい。あわせて起こりうる広域災害への備えとして、遠隔地の同業他社との日常的な広域ネットワーク構築の必要性にも論及したい。



地域社会研究科  
教授・佐々木純一郎

## 講義 3 「地域づくりワークショップの肝」

現在、地域づくりを進めるうえで使われることの多いワークショップ。本コマではその技術一步手前のスタンスを確認します。一番大切なことは地域の日常の暮らしにワークショップを埋め込むこと。よく耳にする「地元学」も、どう進めたら地に足が着くでしょうか。さらに肝になるのが、ふつうの会議をワークショップにどうしたら変えられるか。そういうとき活躍する付箋も、みなさん何となく「まとめ」に入っていませんか。「まとめる」から「引き出す/組み合わせる」へ。どうしたら一歩踏み込めるでしょう。



地域社会研究科  
准教授・平井太郎

## 講義 4 「市民主体の集いの場づくりによるコミュニティ創生」

昨今、「地方創生」をめぐる国や自治体で様々な動きがあるが、地域が活力を取り戻すためには、市民がわが事として地域の課題を受けとめて行動する状況を生み出す必要があるだろう。

この講義では、市民が主体的に集う継続的な場（場所）づくりに焦点を当てて、いくつかの事例紹介を交えつつ解説し、市民による「コミュニティ創生」の可能性を考えるための機会としたい。



地域社会研究科  
准教授・土井良浩

## 相談会

全講義終了後、相談会を実施します。地域活動、大学院地域社会研究科進学等についてご相談ください。



## ◆受講申込書 平成29年度公開セミナー「ポスト地方創生」

受講ご希望の方は、本申込書をFAXでお送りいただくか、下記内容をメールにてお申込みください。

申込み締切日

お申込み先 FAX 0172-39-3961 / E-mail jm2112@hirosaki-u.ac.jp

2017年 9/29(金)

### 1. 受講者について

ふりがな 氏名	
会社名等	
部署・役職等	
連絡先	TEL
	E-Mail

### 2. 受講の希望日について○をお願いします。

受講希望 該当へ○	希望日	テーマ名
	両日 10/21,22 参加	10/21 講義①およびまちあるき 10/22 講義②～④および相談会
	1日目 10/21のみ	10/21 講義①およびまちあるき
	2日目 10/22のみ	10/22 講義②～④および相談会

### 3. 懇親会(10/21)への参加についてお知らせください。

参加 ・ 不参加 (該当へ○をお願いします)